



阿波市

AWA CITY



あすに向かって人の花咲くやすらぎと感動の郷土・阿波市

阿波市勢要覧

阿波市民憲章



わたしたちは、阿讃山脈と吉野川に囲まれた

豊かな自然、輝かしい歴史や伝統に培われたこのまちに
生きる喜びと誇りをもち、

「あすに向かって人の花咲くやすらぎと感動の郷土・阿波市」の
創造をめざしてこの憲章を定めます。

- 一 気持ちのよいあいさつをし、笑顔いっぱいのもちをつくります。
- 一 自然や公共物を大切にし、清潔で美しいまちをつくります。
- 一 だれにも親切にし、優しさのあふれるまちをつくります。
- 一 元氣いっぱい仕事に励み、人が輝くまちをつくります。
- 一 趣味や特技を磨き教養を深め、心豊かな文化のまちをつくります。

目次

2	市長あいさつ
3	阿波市のあゆみ
4	Awa City —阿波市の概要—
6	阿波市交流防災拠点施設アエルワ
8	百花繚乱 —緑・花々の風景—
10	風光明媚 —雄大なる山河を望む—
12	霊場を巡る —心癒される巡礼の道—
14	やすらぎ —ココロ・カラダ・ホッと一息—
16	逸品自慢 —阿波の恵みを味わう—
18	「かがやく」わたしの阿波未来プラン
20	阿波市の拠点 阿波市役所
22	やさしく健やかな阿波
23	安全・安心・快適な阿波
24	人が輝き合う阿波
25	豊かで活力ある阿波
26	明日への基盤が整った阿波
27	共に生き、共につくる阿波
28	阿波市歳時記
30	阿波市イラストMAP



市長あいさつ



阿波市は徳島県中央北部に位置し、北に阿讃山脈、南に吉野川を望む、自然豊かな環境に恵まれた、人口約38,000人の町です。平成17年4月に板野郡の吉野町・土成町、阿波郡の市場町・阿波町の郡を越えた4町の合併により誕生した阿波市は、温暖かつ南面傾斜で日照時間の多い地理的条件を活かした農業が盛んに行われ、県下有数の農業立市のまちとして発展を遂げています。

また、市内には、国の天然記念物「阿波の土柱」や、四国八十八ヶ所霊場の第7番札所「十楽寺」から第10番札所「切幡寺」までの4つの札所を有するとともに、うどんを大きな木製の飯盆に入れ、皆で囲む郷土料理「たらいうどん」や、四国三郎こと吉野川の中流に浮かぶ日本最大級の川の中の無人島「善入寺島」で知られるなど、深い歴史や文化とともに受け継がれてきた、お接待とおもてなしのところが息づくまちでもあります。

皆様が本市を訪れる機会がございましたら、本市の歴史や文化、全国に誇る新鮮な農産物や名産品などを存分にお楽しみいただくとともに、特色ある取り組みや、各施策についても、ご注目をいただければと思います。そして、皆様の思い出となるひと時を、お過ごしいただければ幸いです。皆様のご来訪を、お待ちしております。

阿波市長 藤井 正助

阿波市のあゆみ

多くの村々と町の歴史を礎に
出発した阿波市

阿波市は、平成17年4月1日、板野郡の吉野町と土成町、阿波郡の市場町と阿波町の4つの町が合併して誕生しました。

明治19年（1886年）に「明治の大合併」といわれる町村合併の動きが起こり、この年、36を数えたこの地の町と村は、明治22年（1889年）には10の村になりました。その後、昭和28年（1953年）には「町村合併促進法」が制定され、5つの町と5つの村の形になり、昭和30年（1955年）は土成町、市場町、阿波町が、2年後には吉野町が誕生しました。こうした、多くの村々と町の歴史を礎に出発した阿波市。たくさんさんの希望を一つに、人々の夢が膨らむ市でありたいと願っています。

→ 阿波市の行政区画変遷

明治19年 (1886年)	→	明治22年 (1889年)	→	昭和28年 (1953年)	→	昭和32年 (1957年)	→	平成17年 (2005年)
西条村 五条村	→	一条村	→	一条町 T12.2.9町制	→	吉野町 S32.3.31合併 (知恵島村は 鴨島町へ編入)	→ 阿波市 H17.4.1合併	
柿原村 知恵島村	→	柿島村		柿島村				
高尾村 宮川内村 吉田村	→	御所村		御所村		土成町 S30.3.31合併		
土成村 成富村 浦池村 郡村 水田村 秋月村	→	土成村		土成村	→			
市場町 尾開村 香美村 興崎村	→	市香村	→	市場町 M40.11.1町制		市場町 S30.3.31合併		
山野上村 大野島村 八幡町 伊月村 切幡村 栗島村	→	八幡村	→	八幡町 M41.7.20町制	→			
上喜来村 大俣村 日開谷村 犬墓村 大影村	→	大俣村		大俣村				
勝命村 久千田村 中野村 西野川村	→	久勝村	→	久勝町 S26.11.3町制		阿波町 S30.3.31合併		
伊沢村 小倉原村	→	伊沢村		伊沢村	→			
東林村 西林村	→	林村	→	林町 S3.11.10町制				





Awa City

- 東京から…飛行機約1時間(徳島阿波おどり空港まで37km・高松空港まで34km)
- 大阪から…高速バス(土成ICまで約2時間45分)
- 松山から…高速バス(土成ICまで約2時間40分)
- 高松から…高速バス(土成ICまで約1時間30分)、JR高松駅からJR徳島駅まで約1時間30分
- 土成ICから…車で約15分
- JR徳島駅からJR鴨島駅まで…約40分
- JR鴨島駅から…車で約20分



市章

阿波市の英字表記「AWA」をデザイン化しており、AWを上下に丸みのかかった柔らかな感じで表現し、Aで豊かな緑や阿讃山脈を、Wで清流吉野川を、中央のオレンジの丸は人や花、日の出を表し、豊かな自然と市民の未来をイメージし、デザインされています。



市の木「ケヤキ」

大地にしっかりと根を張り、放射状に大きく枝の伸びる姿は雄大で、力強く大空へ向かって成長していく姿は、未来を見据え、伸びゆく阿波市にふさわしいということから選定されました。



市の花「コスモス」

市内各地に多く栽培されており、開花期間も長く、清楚で可憐な花です。また、花言葉は愛情、語源(COSMOS=宇宙・世界・調和)より阿波市の調和のとれた発展を願いたいということから選定されました。



市の鳥「ウグイス」

昔から人々に身近で親しまれ、春の訪れを感じさせる美しい鳴き声は、市民の伝統的な芸術・文化の創造を象徴し、明るく安らぎのあるまちづくりを表す鳥としてふさわしいということから選定されました。



上／阿波の土柱

下／阿波市産野菜「阿波ベジ」

阿讃山脈を背に、吉野川を望む交通の要衝

阿波市は、徳島県中央北部に位置

し、四国三郎と呼ばれる大河「吉野川」の北岸に広がる市です。東は上板町、西は美馬市、南は吉野川市、北は香川県に隣接しています。北部の県境には阿讃山脈があり、緑豊かな山々からは、宮川内谷川、日開谷川、大久保谷川や伊沢谷川が南に流れ、肥沃な扇状地を形作りました。南部

には、四国最大の河川・吉野川がもたらした豊かな土壌に恵まれた平野があり、どちらも「地域再生計画」「新鮮共感基地」徳島を代表する高品質な農産物の産地として知られています。

気候は温暖で、山河が広がる美しい自然に恵まれ、国の天然記念物「阿波の土柱」は人々を感嘆させる自慢の風景です。誇るべき深い歴史や文化も有し、「四国霊場」の四つの札所をはじめとする名所旧跡が点在しています。

この地域は古くから交通の要衝として位置づけられ、現在では、徳島自動車道が東西に走り、土成インターチェンジや阿波パーキングエリアが整備されています。また、東西には主要幹線として多くの人が行き交う県道・鳴門池田線が、南北には国道318号、県道・津田川島線、志度山川線が香川県と吉野川南岸の国道192号を結んでいます。古くは阿波と呼ばれ阿波踊りで知られる徳島県に誕生したわが「阿波市」。阿波の原風景や伝統文化を大切に、阿波踊りのように世界にその名が知られる「阿波市」を目指しています。



徳島自動車道

アエルワ



アエルワホール

市民の文化・交流活動を支援し、
災害時における応急対策の活動拠点として

「交流防災拠点施設（愛称…アエルワ）」は、延床面積約4282平方

メートル、鉄骨鉄筋コンクリート造りで、免震構造地上3階建てです。この

施設は1階を可動席（392席）と移動席（50席）、2階を固定席（203席）とした最大で645人収容の多

目的ホールを中心に構成しており、1階には市民交流スペース、2階には研修室や調理室などがあります。

眺めの良い3階には市民の方も利用できる食堂が設けられています。

また、この施設は、地震などの災害時には、全国各地からの支援物資やボランティアの人々の受入基地として、また、ここを拠点として、送られてきた支援物資などを市内各所に配送していくという役割を担った阿波市の中心的防災拠点となります。

多目的ホールや研修室は市民どんなでも使用できます。

「アエルワ」の名前に込められた意味

「アエルワ」という名前には、みんなが輪になって、文化・交流を楽しみ合える、分かち合える。災害時には、支え合える、助け合える。そんな「合える輪」を築くための施設であって欲しいとの願いが込められています。



市民の安全のために…災害時に備えた役割



アエルワホール

平常時 式典やイベントのメイン会場
災害時 支援物資集積場



研修室

平常時 生涯学習講座などの会場
災害時 災害ボランティア活動室



研修室(和室)

平常時 生涯学習講座などの会場
災害時 災害ボランティア活動室



調理室

平常時 料理教室などの会場
災害時 災害ボランティアの食事炊き出し



リハーサル室

平常時 音楽やダンスの練習場
災害時 仮眠室・休憩所



食 堂

平常時 162席のレストラン
災害時 災害ボランティアの食事・休憩場所

だれもが安心して
ご利用いただけます



多目的トイレ

車いすの方や、病気やけがで人工肛門や人工膀胱を使用している方(オストメイト)に利用しやすいトイレを配置しています。



こどもトイレ

小さなこどもでも使いやすいように、形や大きさを工夫したこども専用のトイレを設置しています。



授乳室・おむつ交換室

赤ちゃんや小さなこども連れの方でも利用しやすいよう、おむつ交換台や個室の授乳室を設置しています。また、ミルクを作るときに必要なお湯が出る調乳器を置いています。

百花繚乱

緑・花々の風景

春、桜の花々が里や山辺を彩れば、
県道沿いのおよそ170メートル
「シバザクラ街道」も春の装いに目覚
めます。殺風景なコンクリートの風景
を少しでもやすらぎの空間にと、地
元のボランティアの人々が心を込めて
植えたシバザクラの絨緞^{じゅうたん}。夏には、
1トンの水を5回に分けて運び、2時
間から3時間かけ水やりを行います
た。冬には4トンの土を入れ替えたこ
ともありました。水やり、刈り込みな
どの1年間続く作業を経て、見事に
咲かせたシバザクラの風景は、全国花
いっばいコンクールで「国土交通大臣
賞」「厚生労働大臣賞」などを受賞
しています。

5月には、ボタン寺として知られる
神宮寺の境内も、約130種類の
ボタンの競演となり、多くの人が訪れ

ます。6月には個人のお庭でも雨の
中にハナシユウブがつややかな色を
増し、初秋には、五条など市内各地
のコスモス畑が色鮮やかに風にそよぎ
ます。

花を愛する人々が懸命に広げる花
の風景。また、そこに歴史の緑がどっ
しりと枝葉を広げています。日本で
最も古いという国の天然記念物の大
センダン。樹齢約600年の県指定
の天然記念物である大イチョウなど、
花や大樹も豊かなやすらぎをもたら
す阿波市です。



日開谷川の桜並木



右／神宮寺のボタン、左上／市場公園のシバザクラ、左下／熊谷寺の蜂須賀桜

阿波市には、豊かな緑や人々が丹精を込めた花々の風景が広がっています。その伝統の緑も、新しい花畑も、人々の思いがなければ生まれも守れもしませんでした。

今、わたしたちが楽しむ山河の自然も、里山のやすらぎも人々が大切に伝えてきた風景です。そこには言い尽くせない努力があり、後世の人々を思うやさしさがあります。その思いが、阿波市をやすらぎの空間へと創り上げていくのです。



左／野神の大センダン、右上／境目の大イチョウ、右下／案内神社の大クス

花咲き誇るまち「阿波」

阿波 オープンガーデン

オープンガーデンとは

個人の庭を一定の期間、一般の方に公開する活動。阿波市に住む方が丹精込めた庭や花壇を開放し、訪れた人々と交流を深めながら植物を楽しむ催しです。趣向をこらしたお庭の花々や木々を楽しむだけでなく、お庭によっては花苗の販売やカフェも用意されています。

阿波市内の
個人のお宅の
ガーデンめぐりが
できます。



5月中旬頃



阿波市観光大使
阿波市観光協会
マスコットキャラクター
あわみちゃん

あわみちゃんは、市の鳥・ウグイスをモチーフにしたキャラクターで、2012年5月に市観光協会のマスコットキャラクターとして誕生。2013年3月に市の観光大使となり、市内の観光地や特産品のPRに活躍中です。

風光明媚

雄大なる山河を望む



阿波の土柱

天下の奇勝と大河の感動

「阿波の土柱」は、日本随一の奇勝。文字通り、土の柱がそびえる珍しい風景で、巨大な土の壁、自然が筆をふるった壁画のようでもあります。この形成は、およそ100万年前の氷河期に堆積した扇状地が、その後に隆起し、雨水の浸食作用を受けて長い時間をかけて生み出されたものとされ、学術的にも希少な特殊地形で、貴重な研究資料となっています。千帽子山・高歩頂山・円山に、波濤嶽・橘嶽・筵嶽・不老嶽・燈籠嶽の五嶽が散在し、なかでも波濤嶽は高さ13メートルにも達し、南北90メートル、東西50メートルの巨大なもので、昭和9年（1934年）文部省より国の天然記念物に指定されています。

今から約1200年前の桓武天皇の時代には、すでにその存在が知られ、はるかな昔より、多くの人々が訪れてきました。土柱のふもとには、文人たちの句碑や歌碑が残されています。

す。天才放浪画家の山下清もこの地を訪れ、見事な土柱を描き上げました。昭和36年には一帯が県立自然公園に、昭和47年には自然休養村の指定を受け、周辺には遊歩道や土柱山村広場「土柱そよかぜ広場」も整備され、憩いの一画となっています。



野口雨情の歌碑



阿波中央橋
「イサム・ノグチ」作モニュメント



岩津橋(吊り橋)



御所の清流

世界に誇る「阿波の土柱」、悠久の大河「吉野川」。二つの偉大な風景を持つ阿波市は、自然の驚異を知るまちです。だからこそ、先人たちは小さな自然も大切に守ってきました。

日々の情景にも感動をもたらす偉大なランドマークは、多くの文人墨客を全国から呼び寄せ、芸術・文化の素晴らしさも伝えてきました。

阿波市の自然が語る壮大な物語は、わたしたちの未来への大切な提言が秘められています。



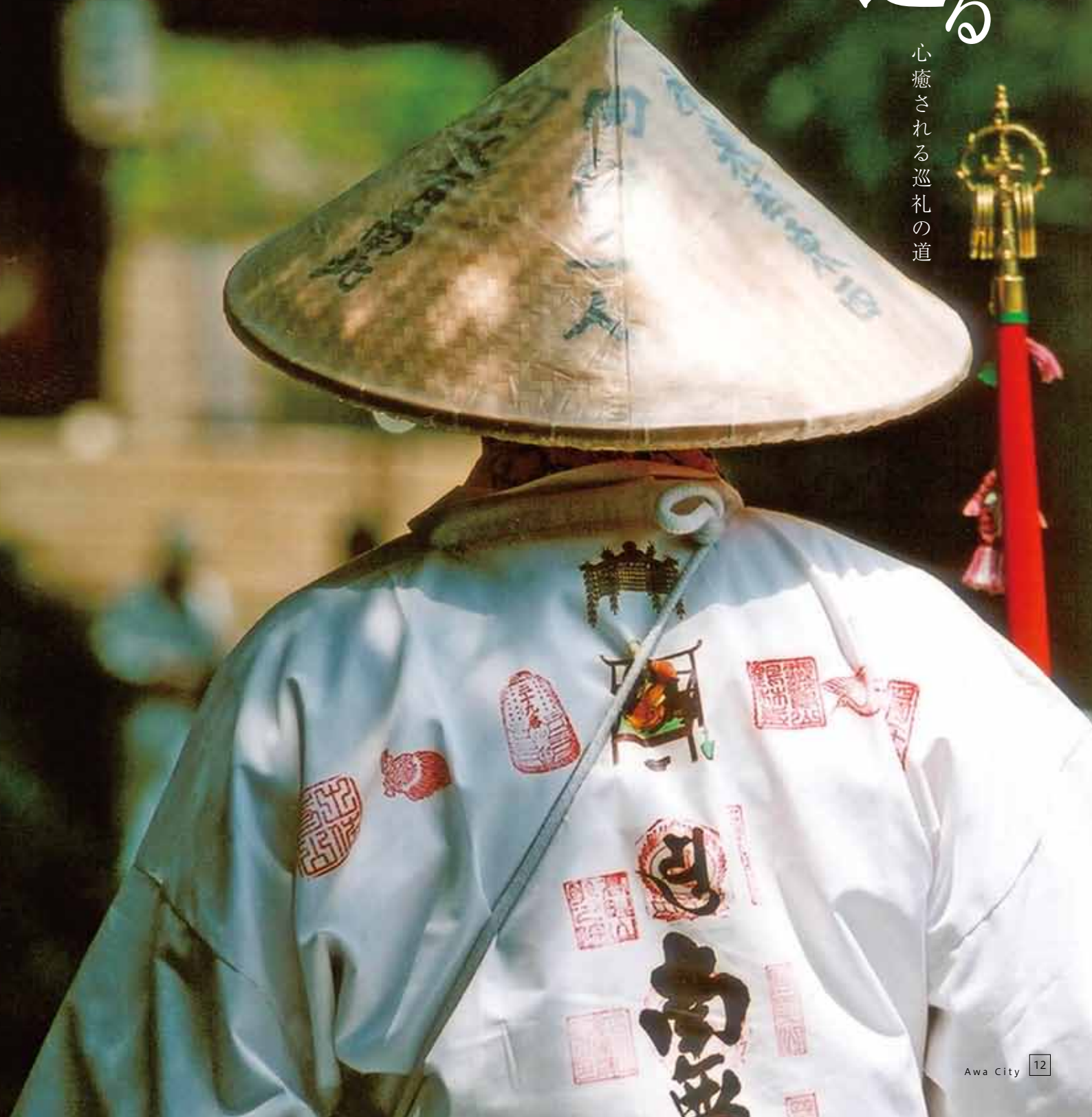
柿原堰

霊場を巡る

心癒される巡礼の道

弘法大師・空海が815(弘仁6)年に開創したと伝えられる四国八十八ヶ所霊場。お寺では、桜や紅葉のほか、建築物や仏像、庭園などの美しい景観が一年を通じて楽しめます。

また四国のなかでも歩きやすい阿波市の遍路道。その道中では、四季折々の花の香りや田園の中に続く道、吉野川の水面近くに架けられた潜水橋など、お遍路の見所とも言うべき景色のほか、「お接待」の文化が根付いた地元の人々とのふれあいなど、お遍路の魅力が詰まっています。



阿波市には、四国霊場の4つの札所があります。また、その霊場をつなぐ遍路道が、山辺を行き、田畑を抜け、川を渡って続いています。

四国霊場第七番札所「十楽寺」は、人間が持つ八つの苦しみを、阿弥陀如来の力によって乗り越え、極楽浄土の10の楽しみを得られるようにと、願いが込められた寺の名前です。本尊の阿弥陀如来は弘法大師の作と伝えられています。

美しい多宝塔が印象的な第八番札所「熊谷寺」は、弘法大師が^{あか}關^{だに}伽谷で修行をしていると熊野権現が出現し、授かった金の観世音菩薩を安置したのが最初であるという伝説があります。貞享4年（1687年）に建てられた仁王門は、県指定の有形文化財で、桁行9メートル、梁間5メートル、高さ13・2メートルで江戸期の山門としては四国随一の規模を誇っています。

第九番札所「法輪寺」は、広々とした田園風景の中にあり、地元では「田

中の法輪さん」とも呼ばれています。八十八ヶ所中でここだけという涅槃像が本尊で、弘法大師作と伝えられ、お釈迦様^{しあが}の入滅時の様子を表しています。

第十番札所は、空海と機織りの娘の伝説でも知られる「切幡寺」。国の重要文化財に指定されている大塔は、豊臣秀頼が住吉大社神宮寺に寄進したものを、明治6年（1879年）から10年をかけてこの地に移築したものです。

お遍路さんの鈴の音もゆかしい阿波市。四力寺を巡り、遍路道をたどれば、心はおだやかに満ちてくるのです。



四国霊場第七番札所 十楽寺



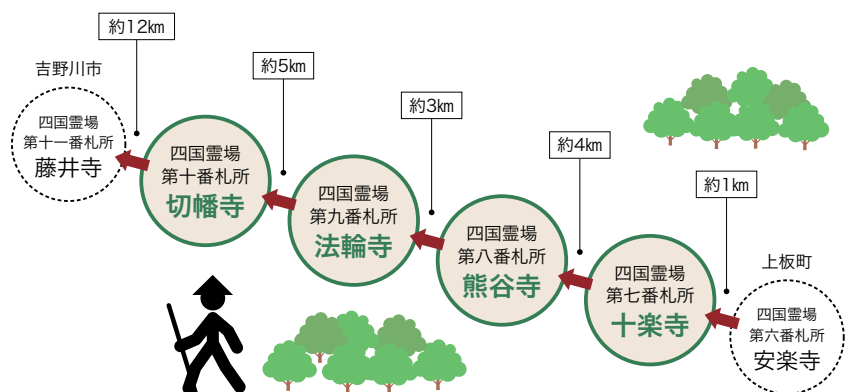
四国霊場第八番札所 熊谷寺



四国霊場第九番札所 法輪寺



四国霊場第十番札所 切幡寺



やすらぎ

ココロ・カラダ・ホッと一息





吉野ウォーターパーク

土成ICの近くには、日帰りの入浴施設「天然温泉御所の郷」があります。地下300メートルからわき出た温泉は、「土成温泉」と名付けられ、神経痛や筋肉痛、関節痛や婦人病などに効能があるといわれています。低温サウナやスチームサウナの設備もあり、名物の御所たらいうどんも手軽に楽しめます。

リフレッシュ
してね



四国平野を一望できる「阿波土柱の湯」は、阿波富士「高越山」を眺める露天風呂が好評で、ボルダリングスペースも完備するなど土柱近くの温泉施設として利用されています。



上／蛭子公園、下／土柱そよ風広場

アクティブスポットで汗を流し、自然の中で爽やかな空気を胸一杯に吸い込む開放感。

友達やご家族、カップルで楽しめる憩いの空間・阿波市でゆったりくつろいでください。



上／宮川内ダム周辺、下／阿波の土柱ハイキングコース



柿島レタス



GOTTSO美〜® ナス

逸品自慢

阿波の恵みを味わう



トマト・ミニトマト

ブロッコリー

レタス

ぶどう

いちご

シンビジウム

阿波市には自慢の農産物がたくさんあります。ナス、レタス、トマト、ブロッコリー、いちご、ぶどう、阿波牛、阿波とん豚など、農業産出額は県でトップを誇る農業王国。おいしいものが、どっさりとあるグルメタウンです。

例えば、シャキッとした歯ざわりがたまらない柿島レタスは、低農薬、有機栽培で県内外を問わず有名ホテルやレストランでも使われています。ナスは徳島県でも生産の中心地で、主に京阪神に出荷されています。まろやかで甘いアムスメロンは、栽培方法もきびしく管理されたハウスで育てられ、県内外に出荷されています。こうした上質の農産物から、おいしい加工品も生まれています。

また、20年ほど前から栽培が始まったシンビジウムは、現在数十種類の品種が栽培され、徹底した品質管理が行われ、9割以上が阪神市場へ出荷され高い評価を受けています。



味覚狩り

徳島自動車道
土成IC
降りてすぐ!!

国道318号は別名フルーツ
ロードと呼ばれ、収穫時期に
はいちごやぶどうの直売店が
オープンし、ぶどう狩りも人気
です。

ぶどう狩り

8月中旬～9月下旬頃



応援します!
阿波市で育った
いいものを

認証マーク



豊かな大地、吉野川の豊富な水は、数多くの農
産物をはぐくんでいます。ここには誠実に農と向き
合う生産者さんがたくさん。特産品認証マークに
は、品質のこだわり、そして食への真摯な思いが込
められています。



阿波ベジ☆プロジェクト

阿波市で採れた野菜“阿波ベジ”に注目して、
“野菜食文化”の継承と創造を目指しています。また、
幼稚園や小学校などでの食育活動や、野菜ソムリエ
の資格取得などの支援にも力を入れています。

キッズ
野菜ソムリエの
育成も熱心に
取組中!!



阿波市の名物といえは!!

御所の たらいうどん

国道318号を
山の奥へと進んでいくと
清流沿いに
たらいうどん専門店が
並んでいます。

名物「たらいうどん」は、コシ
の強い手打ち麺を湯だめの大き
なたらいに入れて大勢で囲
む野趣あふれる郷土料理です。

以前は「じんぞく」という川
魚でとったダシ汁につけてい
ただいており、元々山仕事に従
事していた人たちの仕事納め
のごちそうでした。

1931(昭和6)年に当時の徳
島県知事が、旧土成町へ訪れ
た際に飯盆に盛られたうどん
を食べて帰られ、「たらいの様
な器に入ったうどんを食べて
うまかった」と話したのが広ま
り、「御所のたらいうどん」と呼
ばれるようになったと言われ
ています。





「かがやく」 わたしの 阿波未来プラン

本市ではこれまで、「あすに向かつて人の花咲くやすらぎと感動の郷土・阿波市」という将来像の実現に向け、市民と共に様々な取り組みを積極的に推進し、合併新市としての基盤づくりや一体感の醸成等を着実に進めてきました。

しかしこの間、地方創生（人口減少の歯止めや東京圏への人口集中の是正などにより、将来にわたって活力と魅力ある地方をつくり出すこと）。時代の到来や全国各地における大規模災害の発生をはじめ、社会環境は大きく変化してきています。

将来にわたって活力と魅力あふれる阿波市をつくっていくために、新たな視点と発想を加え、本市のまちづくりの第2ステージははじまっています。

基本理念

協働・創造・自立のまちづくり

行政・地域・個人が担う役割を互いに認識することともに、個性と魅力あふれる自立した阿波市をつくりあげていくことを原則とし、基本理念を、「協働・創造・自立のまちづくり」とします。

協働

市民と行政との新たな関係を構築し、知恵と力を合わせて阿波市をつくります。

創造

本市ならではの特性・資源を生かし、個性的で魅力ある、誇りつる阿波市を創造します。

自立

地方分権・地方創生の時代の自主・自立のまちづくり、住民自治の地域づくりを進めます。

将来像

あすに向かって人の花咲く

やすらぎと感動の郷土・阿波市

「あすに向かつて」

未来を見据えた、持続可能なまちづくり

「人の花咲く」

「人」を中心に据えた、子どもから高齢者まで、市民一人ひとりが輝くまちづくり

「やすらぎ」

心身共に健やかで、安全に安心して、おだやかに暮らすことができる阿波市

「感動」

住む人にも訪れる人にも、勇気と感動をもたらし、常に前進し躍動する阿波市

「郷土」

ずっと住みたくなる阿波市、戻りたくなる阿波市、移り住みたくなる阿波市

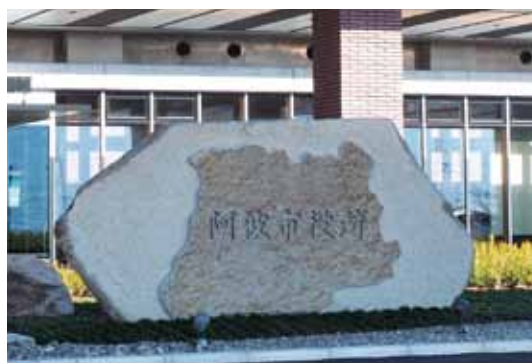


阿波市役所

地域住民のみなさまが快適に、
安心して日々の生活が送れるようサポートいたします



上／阿波市役所外観、下／阿波市役所全景



上／阿波市役所銘板、下／1階から3階まで吹き抜けのホール



窓口カウンター

2014年まで支所などで分散して行われていた9部局25課の業務が一元化された新庁舎周辺に、交流防災拠点施設「アエルワ」や、学校給食センターを配し、これからのまちづくりを担う中核となっています。



議場



市民情報スペース



ヘリポート



太陽光発電



調整池



阿波市学校給食センター



吉野支所



土成支所



阿波支所

やさしく健やかな阿波

子どもから高齢者まで、すべての市民がいいきと暮らし、活力あるまちをつくるための基本は「健康」にあるとの方針のもと、健康寿命の延伸や病気予防を重視した取り組みを行います。

また、万が一、医療や介護が必要な状況が訪れた時にも、住み慣れた地域で安心して暮らせるサポート体制づくりや、豊かな自然環境の中で、安心して子育てができる環境づくりなど、みんなが健やかに暮らせる阿波市を目指します。



- 1 阿波の土柱ハイキングコース
- 2 空海の道ウォーク
- 3 農業体験
- 4 阿波市老人体育大会

安全・安心・快適な阿波

近年の自然災害の大規模化、頻発傾向を考慮すると、一地域
のみの防災体制では対応が難しくなっています。今後は、南海
トラフ巨大地震をはじめとする大規模自然災害への対応力を強化
するため、周辺地域を含む広域的な防災体制づくりを進めます。

また、水と緑の豊かな自然が息づくまちとして、快適な生活環境
づくりを進め、市民がずっと住みたくなる、市外の人に移り住み
たくなる阿波市を目指します。

1

消防・防災の
充実

2

交通安全・
防犯の充実

3

消費者
対策の推進

4

環境保全の
推進

5

ごみ処理等
環境衛生の
充実

6

水道・
排水処理の
充実

7

公園・緑地の
充実



1



4



3



2

- 1...阿波市消防団
- 2...土成緑の丘スポーツ公園
- 3...阿波市消防団救援機動隊
- 4...阿波市消防団女性消防班

人が輝き合う阿波

子どもたちが、郷土を愛し、郷土に戻り、郷土をつくる人材として成長していくことができるよう、食育を基盤にした、知・徳・体の調和のとれた「生き抜く力」の育成や「郷土愛」の育成に取り組みます。さらに、食育については、農業の振興や健康づくりの観点からも市民に幅広く推進します。

また、「アエルワ」や豊富な社会体育施設を有効に活用しながら、市民主体の文化・スポーツ活動等を支援し、生きがいと感動に満ちた暮らしが送られ、住んでいることを誇れる阿波市を目指します。



- 1 土成歴史館
- 2 阿波シニアマラソン
- 3 交流防災拠点施設「アエルワ」
- 4 市場歴史民俗資料館

豊かで活力ある阿波

県下有数の農業のまちとして、市全体を牽引する農業のさらなる振興を図るため、「阿波市ブランド」の構築や農地集積、担い手の育成等を重点とした取り組みを積極的に行います。

また、企業のニーズに合わせたオーダーメイド型の企業誘致や、市内の未利用の土地・建物を活用した企業誘致などの雇用促進と、本市ならではの観光・交流資源を活かした癒しの郷づくりに取り組み、豊かで活力ある阿波市を目指します。

1

農業の振興と
森林の保全

2

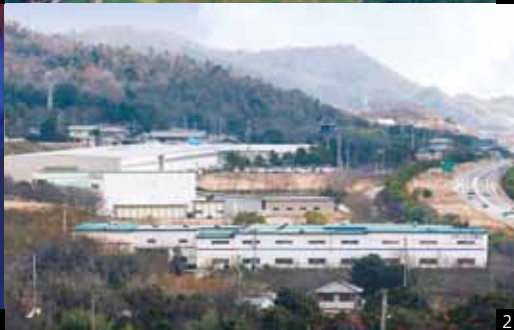
商工業の振興

3

観光の振興

4

雇用対策の
推進



1 西長峰工業団地
2 土成工業団地
3 阿波市産野菜「阿波ベジ」
4 錦鯉
5 善入寺島

明日への基盤が整った阿波

明日の阿波市を支える基盤づくりとして、交通の要衝及び広域的な防災拠点としての機能の強化、市民の利便性・安全性の向上、交流人口の増加を目指し、計画的な土地の利用や道路・公共交通・情報ネットワークの形成を図ります。

また、人口減少の抑制に向け、定住・移住の基盤となる住宅の整備・確保、定住・移住を直接的にサポートする施策の推進や市の情報発信の強化を図り、全国から選ばれる阿波市を目指します。

1

計画的な
土地利用の
推進

2

道路・
公共交通の
充実

3

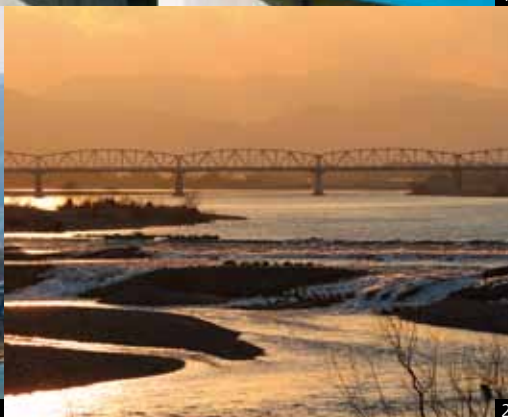
情報化の
推進

4

住宅施策の
推進

5

定住・
移住対策の
推進



1 西条大橋
2 柿原堰
3 岩津橋(吊り橋)

共に生き、共につくる阿波

人口減少・超高齢社会を迎える中、これまで以上に人と人との
支え合い、共に生き、共に活躍する社会づくりが必要になります。
そのため、市民活動が活発なまちとしての特性を活かし、市民や
市民団体、民間企業等の参画・協働を積極的に促進します。

また、厳しさを増す財政状況の中、より効率的な財政運営を目
指すとともに、選択と集中による事業の重点化を進め、独自性を
持った行財政運営を目指します。

1

人権尊重
社会の確立

2

男女共同参画
社会の形成

3

コミュニティ
活動の促進

4

協働の
まちづくりの
推進

5

計画的な
行財政運営の
推進



1... JA夢市場
2... 道の駅となり「餐もてなしの館」
うどん手打ち体験
3... 阿波市役所



Winter

1月

- 上旬
錦鯉初せり市…[市場]
- 13日
大野寺 虚空蔵市…[市場]
- 第2日曜
大俣八幡神社 御的射…[市場]



大俣八幡神社 御的射



錦鯉せり市

阿波
シティマラソン



3月

- 第1日曜
阿波シティマラソン
- 3月～11月の毎月第1・3土曜
錦鯉せり市…[市場]
- 上旬(旧2月1日)
賀茂神社 春祭り…[阿波]
- 彼岸中日
切幡寺 経木流し…[市場]
- 23日
一条神社 春祭り…[吉野]

切幡寺 経木流し



Spring

4月

- 鎌棒市…[阿波]



空海の道ウォーク

阿波
オープンガーデン



5月

- 第3日曜
空海の道ウォーク…[市場]
- 中旬
阿波オープンガーデン…[阿波]

※開催日時、内容等に変更する場合がございます。詳しくは各行事の主催者にお問い合わせください。

1年間のイベント
カレンダーです

阿波市 歳時記





幻灯火

吉野川 鮎漁釣り



6月

- 1日
吉野川 鮎漁の解禁
- 中旬
大久保谷川ホタル祭り…[阿波]
- 中旬
幻灯火…[市場]

Summer

7月

- 中旬
吉野ウォーターパーク オープン…[吉野]
- 第4日曜
一条神社 夏祭り…[吉野]

吉野
ウォーターパーク



大久保谷川
ホタル祭り



8月

- 中旬
阿波市納涼祭
- 中旬
あわ阿波おどり…[市場]
- 中旬～9月下旬頃
ぶどう狩り…[土成]

阿波市納涼祭

あわ阿波おどり



ぶどう狩り



9月

- 中旬
城王山大護摩修法祈願…[市場]
- 彼岸中日
切幡寺 経木流し…[市場]

阿波まち
ア・ラ・カ・ル・ト&
秋のオープンガーデン

10月

- 体育の日
案内神社 秋祭り…[吉野]
- 体育の日
五条神社 秋祭り…[吉野]
- 下旬
阿波まちア・ラ・カ・ル・ト&
秋のオープンガーデン…[阿波]
- 第4日曜
一条 十二柱秋祭り…[吉野]

Autumn



阿波市イラストMAP



7 四国霊場第九番札所「法輪寺」



8 四国霊場第十番札所「切幡寺」

※写真は切幡寺大塔



① 道の駅となり「餐(もてなし)の館」



② たらいうどん



③ 吉野ウォーターパーク



④ 阿波の土柱



⑤ 四国霊場第七番札所「十楽寺」



⑥ 四国霊場第八番札所「熊谷寺」

※写真は熊谷寺多宝塔



阿波市

AWA CITY



阿波市勢要覧

発行日／2019年3月
発行／徳島県阿波市
〒771-1695 徳島県阿波市市場町切幡字古田201番地1
TEL 0883-36-8701 FAX 0883-36-8760
URL／<https://www.city.awa.lg.jp/>
E-mail／info@awa.l-tokushima.jp
編集／阿波市秘書人事課
制作・印刷／株式会社坂東印刷